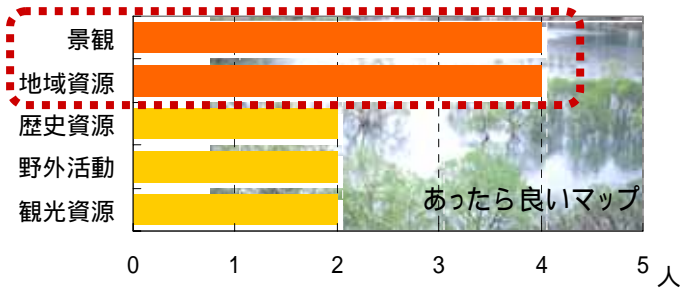


マップづくりのテーマについて

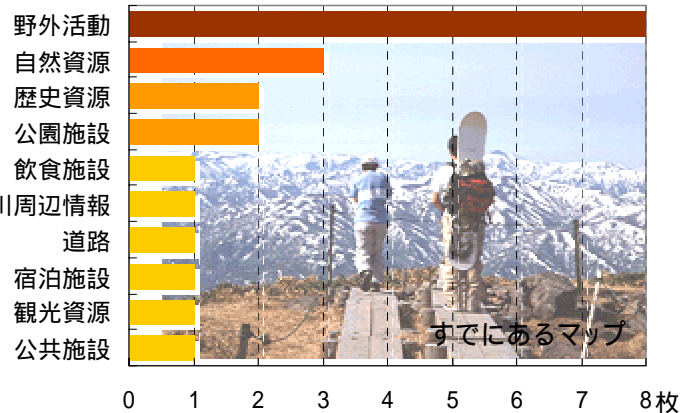
平成18年3月16日(木)「第二回寒河江ダム水源地域ビジョン推進会議」が最上川ダム統管理事務所に開催されました。平日の午後にもかかわらず、10名の方々に参加いただきました。ありがとうございました。

推進会議でいただいたご意見をもとに、「あったら良いと思うマップ」と「地域にすでにあるマップ」をもとに、「関心が高いけれど、まだ作られていないマップは何だろう?」という観点から、マップづくりのテーマを改めて整理いたしました。

右上段のグラフは、ヒアリングで「地域にあったら良い」と回答したマップテーマをグラフに整理したものです。下段は、すでにあるマップのテーマを整理したものです。



この二つを比べると、「景観」「地域資源」に関するマップは、皆様の関心は高いけれど、まだ地域にはないことがわかります。



そこで、ビジョン推進事務局では、「景観」と「地域資源」をテーマとしたマップづくりを進めることを提案いたします。

マップ案1

地元おすすめ！
月山湖で遊び・ダムに親しむ
ベスト20

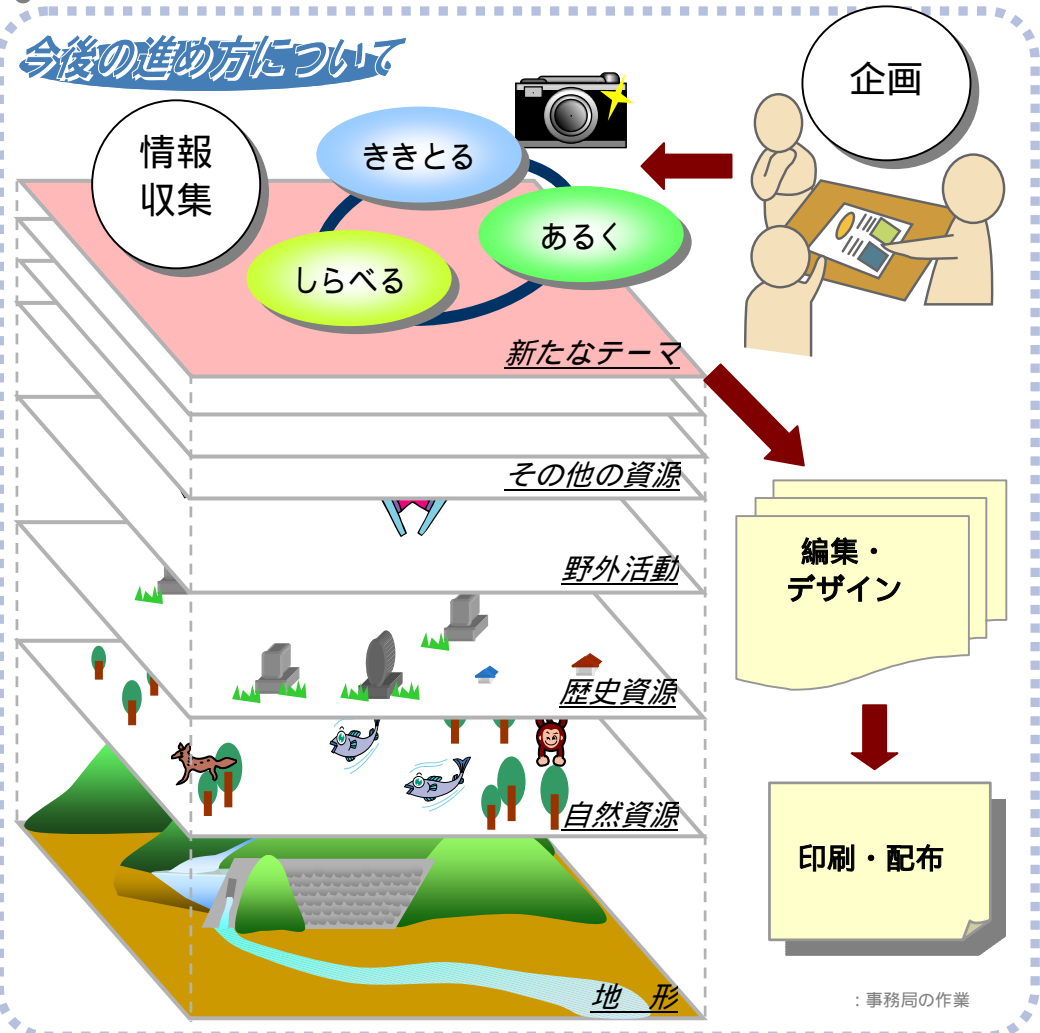
ダムとダム湖に親しむため、魅力をアピールするためのマップ
ダム湖の利用に関する総合案内

マップ案2

ダムと水を守る
水源地域の暮らし知ってマップ

水源地域の豊かな暮らしを紹介
寒河江川のきれいを守る取り組み
の紹介

今後の進め方について



：事務局の作業

寒河江ダム水源地域ビジョン 推進レポート

活動の概要

旧六十里越街道とビジョンの 関係とは・・・

旧六十里越街道の追分け石及び周辺整備について、保存推進委員会が中心となり、山形県や西川町、民間と連携して整備を検討してきました。

旧六十里越街道の起点部が寒河江ダムの管理用地内にかっ
ているため、この整備に関わる協議を寒河江ダム水源地域
ビジョンの一環として実施しています。

六十里越保存推進委員会との協働に向けて

平成17年12月、西川町・国土交通省(山形河川国道事務所、最上川ダム統合管理事務所)・西川町総合開発の関係者が集まり、六十里越保存推進委員会との協力体制や役割分担などについて協議しました。

第二回ビジョン推進会議で寄せられた高い関心

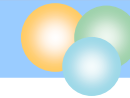
平成18年3月16日に開催された第二回ビジョン推進会議では、旧六十里越街道の整備に対して、多くのメンバーによる熱心な質疑応答が繰り広げられました。街道の利活用に対する地域の関心の高さが伺えました。

今後は、推進会議の有志も参加して、水源地域ビジョンにおける街道整備の方向性を検討していくこととなりました。

活動名
旧六十里越街道の利活用の
促進
【目標2- b)】

概要
旧六十里越街道の起点部
が寒河江ダムに関すること
から、関係機関と連携し、
整備推進のための協議を
実施している。

「川に学ぶ」活動助成事業



ダムや水源地域を対象とした
支援事業 シリーズ
その2

主催：(財)リバーフロント整備センター

支援対象：河川・海岸等の水辺空間に関して、市民の方々の関心を高め、「川に学ぶ」社会の実現を促進するため、市民団体等が河川・海岸等の水辺で行う自然体験や環境教育等の活動等。

(例：水辺に関わる地域をフィールドとして行う自然体験や環境教育等の活動/河川等に関係するセミナーやスクールの実施、情報の提供、川を活かしたまちづくりに資する啓蒙等の諸活動等)

支援内容：事業費支援(1活動あたり10万円を上限)

募集締切：平成18年4月21日(金)

問合せ先：(財)リバーフロント整備センター

「川に学ぶ」活動助成事業 事務局(03-3265-7121)まで

平成16年度に助成を受けた活動がHP(<http://www.rfc.or.jp/kawa/H18manabou.html>)に公開されています。



リバーフロント整備センターHPより

Q & A



Q)ダムの管理用道路を一般の人が利用することはできますか？

A)平成18年度からゲートを開放し、一般の人々にも利用していただくことが出来るようになります。

これまでは、管理用道路にかかる橋が壊れていたため、危険防止のために通行止めにしていましたが、平成17年度に修理が完了したため、安全に通ることが出来るようになりました。